

# ピープルズ・ホープ・ジャパン 2014年度事業計画

## 1. 概要

PHJの海外支援については、タイ、インドネシア、カンボジアの3ヶ国の支援事業の継続とともに第4ヶ国目の支援候補地として前年度調査したミャンマーの具体的な活動地の決定と支援の第一歩を踏み出す予定です。また東日本大震災支援については前期に引き続き全日本病院協会と連携して被災地の病院機能の復興支援とともに仮設住宅や周辺住民への医療サービスが充実するように医療器材の寄贈や不足している医療用品の配布などを支援していきます。

## 2. 東日本大震災支援活動（総事業費 2116万円）

引き続き全日本病院協会と連携して被災した民間医院、クリニックへの復興支援を続けていきます。気仙沼では基幹病院である気仙沼市立病院への過度な入院や患者数の負担を多少でも緩和する為、復興から立ち上がったクリニックが周辺住民への医療サービスが充実するように移動診療車の寄贈や不足している医療用品、備品類の配布などを継続支援していきます。また、石巻では行政と連携して、今も津波で家を流され仮設住宅で暮らしている高齢者をはじめ、多くの住民が暮らしている地域での医療支援を計画しております。

## 3. タイ支援（総事業費 3060万円）

### ① HIV/エイズ予防教育支援（補助金事業）

これまでの10年以上にわたる活動の集大成として、対象年齢を引き下げ18の高等専門学校で展開する3年計画事業を外務省の補助金を得て8月よりスタートします。チェンマイ地区の青少年のHIV感染が減少するようチェンマイ保健局との協同活動となります。

### ② 子宮頸がん・乳がん検診推進支援（補助金事業）

外務省の補助金により、2010年11月から開始した3年計画の活動は、第1年度サラピー郡、サンカンペン郡、第2年度サンサイ郡、ドイサケット郡、最終年度となる第3年度はハンドン郡、サンパトン郡にて行っており10月に終了します。

### ③ HOPE パートナー教育支援（自主事業）

1998年以来継続している「里親制度」プログラムに残った国籍のない子供を含め25名に対して、看護師・理学療法士と共に家庭訪問し、リハビリ治療を行うなど、個別対応のホームケアに力を入れて継続していきます。今後も、担当の子供が卒業する支援者には、小児先天性心臓病手術のご支援をお願いします。

### ④ 小児先天性心臓病手術支援（自主事業）

今年度も昨年同様多くの企業と個人からの支援のもと、子ども達の心臓病手術支援を行います。チェンマイ大学およびランパン病院での手術を行い、タイ国籍を持たない子供への支援も増やします。

### ⑤ ベトナム北部乳がん検診推進支援（自主事業）

2013年1月よりスタートしました、現地パートナーVWU（ベトナム・ウーマンズ・ユニオン）との活動をこまめにレビューし、いかに早く現地化できるかを検討しつつ、事業を継続していきます。

## 4. インドネシア支援（総事業費 2000万円）

### ① バンタン州地域保健医療システム強化事業（自主事業）

西ジャワのバンタン州セラン県テイルタヤサ自治区でのMDGs 目標でもある、安全な出産と子供の健康な発育を目指したこの事業は、昨年度までに所期の成果を挙げました。本年度からは3年後の完全自立化を目指す地固めプログラムに移行します。主な課題は村の保健サービスの向上・活性化と、健康に暮らす環境(衛生)面の改善、緊急搬送患者・異常出産にも対応できる救急搬送システムの構築・運用などです。保健・医療サービスを提供する保健センター(Poskesdes)建設支援は、ソーラー深井戸付を基本仕様として着実に実施します。「栄養改善活動」では、栄養菜園の拡張と定着、栄養教育センターを活用して今まで開発した栄養メニューの浸透を図り、徐々に行政へのバトンタッチを行います。

## ② 画像診断技術教育支援(自主事業)

今年度は、東バリ州ギアーニア病院への日本の検査技師を派遣する画像診断教育は見送りますが、不足している画像診断機器の支援は実施する計画です。

## ③ HIV/AIDS 予防教育支援(自主事業)

東バリ州では過去、鳥インフルエンザ予防教育、狂犬病予防啓蒙教育活動を実施しましたが、本年度からはPHJ タイで実績のあるHIV/AIDS 感染予防教育をインドネシアの国民性に合わせた内容とした活動を開始します。近い将来実施地域若者へのHIV 感染拡大の懸念が高いにもかかわらず、今まで若者への予防教育のアプローチはほとんどありませんでした。PHJ のノウハウを生かすことが出来る可能性が高いと判断しています。

## 5. カンボジア支援(総事業費 1900 万円)

### ① 母子保健改善のための健康な村作り事業(補助金事業)

コンポントム州での「健康な村作り事業」は3年目で最終年を迎えます。村人が正しい知識をもって自主的に予防行動をとることを促すために、地域のボランティア育成、トイレや搬送システムなどの健康インフラの支援を行ってきました。これまでの支援が地域に根付くために、過去2年間の経験を生かした支援活動を行いながら、一年間をかけて徐々に村人の自立を促していきます。

### ② 学校保健パイロット・プロジェクト(自主事業)

パイロット事業として、コンポントム州の小学校で衛生を中心とした保健教育を実施します。日常に何気なく行っている「手洗い」といった行動は子供のころに繰り返し行うことによってようやく身に着く習慣です。学校の授業であまり保健や健康について学ぶことのないカンボジアの小学生に衛生について楽しく学ぶ授業を行います。

### ③ 看護師・助産師養成校への医学図書寄贈事業(自主事業)

カンボジアで看護師・助産師を育成する養成校には、図書館はあるものの、最新の医学図書などはありません。養成校へ新しい医学書を寄贈し、看護師・助産師の卵たちがより良い知識を身に着けることを支援します。

## 6. ミャンマー支援(総事業費 300 万円)

前年度調査しましたミャンマーの具体的活動候補地を専門家を交え調査決定し、ミャンマー政府・保健省との覚書締結・団体登録などのプロセスへ移行する予定です。

以上

**2014年度 予算 (2013.7.1 ~ 2014.6.30)**  
(海外分を含む)

(単位 円)

科 目	2013年度		2014年度
	予算	決算	予算
<b>I. 収入の部</b>			
1. 現金寄付	92,200,000	110,153,417	82,000,000
法人	54,000,000	50,805,844	57,500,000
個人	7,600,000	7,921,832	7,600,000
パートナー	2,100,000	2,070,000	2,000,000
一時寄付	6,000,000	7,089,055	6,000,000
災害寄付	22,500,000	42,266,686	8,900,000
特別寄付	-	-	-
2. 商品寄付	2,300,000	9,887,688	1,400,000
3. 公的補助金	19,800,000	21,500,869	26,580,000
4. 預金利息		45,491	
当期収入(現金)	112,000,000	131,699,777	108,580,000
当期収入(商品)	2,300,000	9,887,688	1,400,000
当期収入合計(A)	114,300,000	141,587,465	109,980,000
前期繰越(現金)	61,360,235	61,360,235	61,188,313
" (商品)	0	0	0
収入合計(B)	175,660,235	202,947,700	171,168,313
<b>II. 支出の部</b>			
1. 事業費	103,410,000 (82.3%)	119,822,847 (84.5%)	95,160,000 (80.5%)
現金	101,110,000	109,935,159	93,760,000
商品	2,300,000	9,887,688	1,400,000
2. 募金活動費	16,270,000 (12.9%)	16,672,282 (11.8%)	17,000,000 (14.4%)
人件費	9,000,000	10,650,000	10,000,000
経費	7,270,000	6,022,282	7,000,000
3. 管理費	6,000,000 (4.8%)	5,264,258 (3.7%)	6,000,000 (5.1%)
人件費	2,000,000	1,553,157	2,000,000
経費	4,000,000	3,711,101	4,000,000
支出合計(C)	125,680,000 (100%)	141,759,387 (100%)	118,160,000 (100%)
現金	123,380,000	131,871,699	116,760,000
商品	2,300,000	9,887,688	1,400,000
<b>III. 次期繰越(B-C)</b>	49,980,235	61,188,313	54,408,313
1. 現金	49,980,235	61,188,313	54,408,313
2. 商品(在庫)	0	0	0